

振れ止め一体型ロードセル据え付け要領書

(振れ止め一体型ロードセル NZ型)

日本アドテック株式会社

目 次 頁

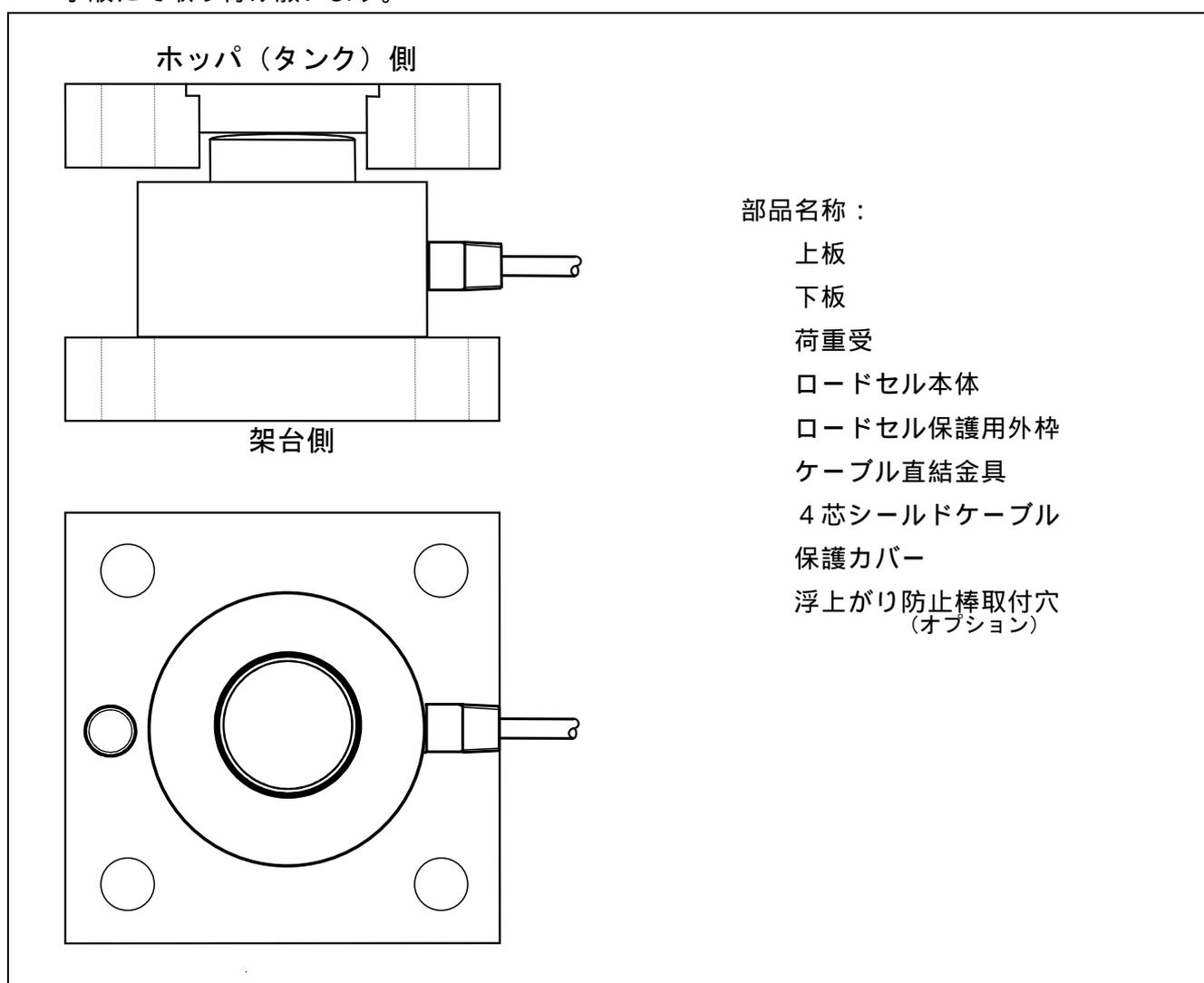
1 振れ止め一体型ロードセル取扱上の注意	P 1
2 部品構成	P 1
3 上板取付準備	P 1
4 下板(ロードセル本体)の準備	P 2
5 ホッパ(タンク)及び架台への取り付け	P 2
6 浮上り防止金具取付要領	P 2
7 ロードセル配置図	P 3

1. 取扱上の注意

- (1) 振れ止め金具一体型ロードセルは、重量物なので運搬等を行う際は落下、転倒などに注意し、作業を行って下さい。
- (2) 電気溶接等の過電流によるロードセル内部焼損防止について
溶接工事を行うときは、ロードセルに電流が流れないように、最大限の注意を払って下さい。振れ止め金具としては上板と下板を銅線で接続しロードセルへの電流を回避してください。

2. 部品構成

振れ止め金具一体型ロードセルの取付方法は、部品構成図(1図)を参照の上、項目3～6の手順にて取り付け願います。



1 図

3. 上板取付準備

- (1) 上板中央の荷重受け取付穴に荷重受けを取り付けます。
- (2) 上板の上部(ホッパ、タンク取付側)に付着物が無いことを確認します。

4. 下板（ロードセル本体）の準備

(1) 下面側に付着物が無いことを確認します。

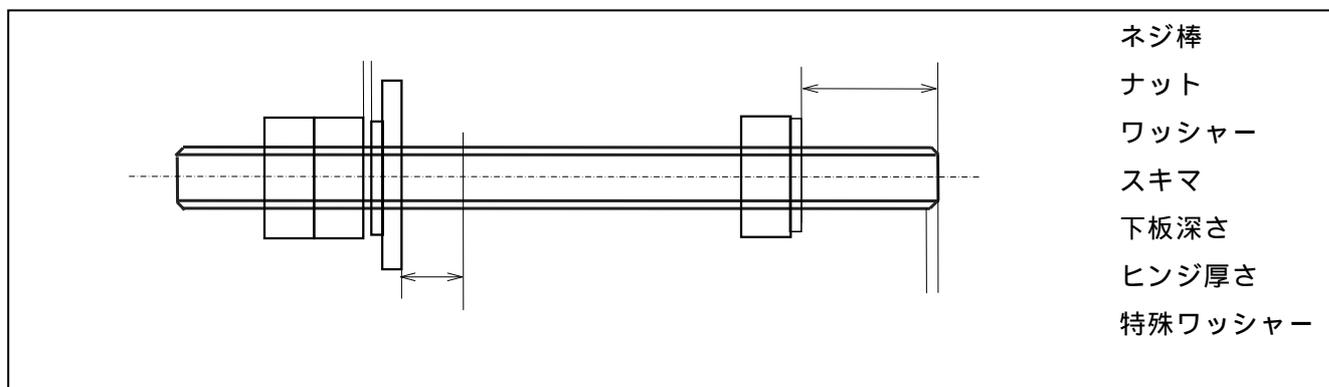
5. ホッパ（タンク）及び架台への取り付け

- (1) 項目4で確認したものをロードセル取り付け位置に置きます。
- (2) この振れ止め金具は水平力を受ける方向が、均一ですので、設置方向に注意する必要はありません。
- (3) ホッパ（タンク）の浮き上がり防止ネジ穴、ホッパ取付穴は上板、下板同位置になっています。据え付け前に再度ご確認して下さい。
- (4) 水平を確認します。上板、下板の傾きは0.5度以内になるように、シムやライナーで調整して下さい。
- (5) 下板を締め付けた後に、上板を締め付けて下さい。
- (6) ロードセル上部が、荷重受け内に収まっていることを確認して下さい。
- (7) ロードセル4台使用時は、浮いているものがないか、チェックして下さい。浮いていれば、シム板等を荷重受け上面に入れて、出来るだけ均等に当たるようにして下さい。（弊社技術員立会時には荷重分布値を計測チェックします。均等でない場合は、再度レベル調整を行うこととなります。）

6. 浮上り防止金具取付要領（オプション）

浮上り防止金具の取付方法は、浮上り防止棒図（2図）を参照の上、以下の手順にて取り付け願います。

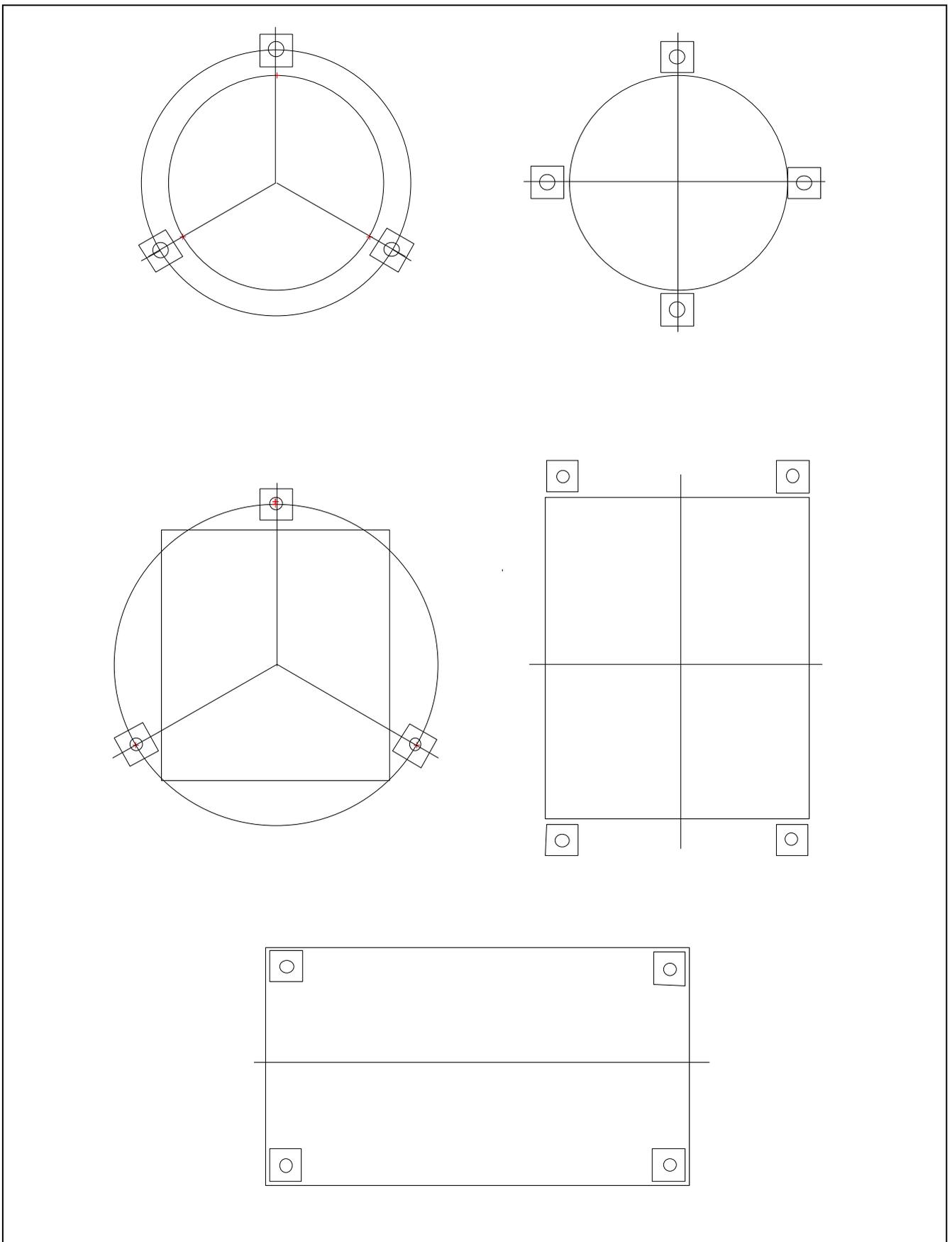
- (1) 下板（ロードセル本体）の浮上り防止金具取付穴（タップ穴）にネジ棒をしっかりとねじ込みます。すきまを2mm程度残し、ワッシャーを入れてナットで固定します。
- (2) 上板の浮上り防止棒通し穴（ヒンジ含む）にネジ棒を通します。
- (3) ヒンジより出ているネジ棒に特殊ワッシャー、ワッシャー、ナット、ナットの順に取り付けます。この時ワッシャーとナットの間にはすきまを2mm程度残し、ナットで締め付けて固定しないで下さい。



2 図

7. ロードセル配置図

ロードセル3個または4個使用時の配置例として3図を参考にして下さい。



3図